

令和4年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価(前期) (評価規準 A:十分に実践されている B:ある程度実践されている C:不十分である D:分からない)

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養						
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。						
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理						
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
①学習指導の充実	授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革に向けて、アクティブラーニング、ICTを利用した授業を実践する。(各教科で研究授業を行い、全職員で検討を行う。) 令和4年度入学生から実施する「総合的な探究の時間」で使用する探究プログラム(ぼらぷら)を有効に活用し、生徒が自ら課題を発見し、解決していくための資質・能力を育てる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ハード面が充実してきたことにより、ICTを活用した授業が増えてきている。より新しい授業方法を追求していくために、授業を観る機会を増やし、一回の研究授業時に一名が授業を行うようにし、その後の検討会議も全員で意見交換をする。(現在は一度に2～3名が研究授業を行い、参観した授業ごとで検討会議を実施している。) 探究プログラム「ぼらぷら」については、接続がうまくいかない、動画が再生できない等の理由で、十分に活用できていない。資料を編集し直す、構成を変えて実情に合うようにする等の追加作業が必要になる。年間スケジュールやシステムが不十分であり、今後の導入については検討していく必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した教育への推進に期待します。 ICT等、ハード面の環境充実は、生徒にとって学ぶ意欲につながっていると思います。 ハード面の充実化に力を入れているのは素晴らしいと思います。一方で先生方の指導力向上をはかって欲しいですし、個性あるキャラクターや(先生の)指導が生徒には楽しいでしょうし、学校生活の思い出にもなると思います。 電気に頼らない学習も必要なのでは? 新しいことも必要だけど、現状で充実した授業内容の見直し、生徒が興味を持って勉強できる環境。 昨年度も書きましたが、評価委員も研究授業を参観できる機会があるとありがたいと思います。
	ICT教育	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教室に電子黒板を設置し、教員側が日常的にICT機器を活用した授業を展開できるようにする。 生徒の端末を授業等で活用する場面を積極的に設けることで生徒のICTスキルの向上を図る。(電子教科書、スタディサプリ、googleフォーム、オンライン授業など) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みには電子黒板が全てのクラスに設置され、授業展開(内容)に様々な工夫をすることが可能になり、幅が広がってきた。職員で共有する機会を増やしていきたい。 スタディサプリを朝学習の教材、中学学習の学び直しに活用している。もっと利用頻度を高めるために、日常的に、計画的に活用できるようにしたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 全クラスに電子黒板が設置されたのは良いことだと思う。 大いに活用して、これからの情報社会に対応する素地を養ってください。 電子黒板の資料を作る作業が負担になっている部分があるのでは?(電子黒板を使う先生と使わない先生) 黒板の位置が固定されていて見づらい場所もあるし、カーテンが明るすぎて映像が不鮮明らしい。 スタディサプリはとても良い教材ですので、広く活用を求めます。
②進路指導の充実	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学&中堅以上私大(河合塾全国偏差値47.5以上)へ7名以上合格させる。【一般・推薦・総合型選抜を問わず】 高3生への面接・小論文指導を強化する。「チューター制(同じ教員が担当)」で行う。 学力向上、進研模試で全国偏差値50以上の生徒を総進は10%以上、特進は50%以上育てる。 基礎力診断&スタディサポートの事前対策を重視する。ベネッセハイスクールオンラインを教員がもっと有効活用し、Bゾーンを増加させ、Dゾーンを減少させる。 スタディサプリ活用を強化する。到達度テストに向けて各学年で計画を立て、家庭学習やHR活動等で利用させる。高3生は受験&入社試験対策でも活用させる。 個別指導学習を強化する。志望校が決まっている生徒には夏休み前から受験指導を実施する。推薦希望者の生徒も一般入試を見据えた指導を行う。 学習習慣を定着させる。スコラの活用を強化する。 進路目標づくりを充実させる。進路ガイダンス・適性検査・進路希望調査・オープンキャンパスを融合させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 安易に専門学校に流れる傾向があると思われる。大学がすべてではないが、学ぶ意義を根本的に講義することが必要である。 前期は総合型選抜入試の面接練習が行なわれた。今後は、まず10月頃から始まる学校推薦型選抜入試に向けて、昨年成果を上げたチューター制による面接指導を実施する。 基礎力診断テストや模擬試験については、過去問題やスタディサプリの配信、授業での対応により事前対策を行なっている。クラスによって学習時間の差が大きいため、計画に沿った、継続した指導が必要である。各教科の課題の配信も行なっているが、今後は生徒の提出率を確認し、取り組みについて指導していく。 実力で勝ち取る入試方法の生徒に対して、本番でも活用できる知識・応用を十分に教授できていない。 個々の進路希望に対応するのは当然であるが、学習意欲が高い生徒が報われるような環境を作ってあげたい。 スコラの活用については、夏休み後、提出者が減少している。修正したい。 今夏の校内予備校は企画が良かったので継続したい。 近隣の中学生が本校に期待するものを分析して取り組んでいきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> チューター制で行うことは生徒にとっても心強い。 チューター制というのは大変興味深いと思います。継続的に同じ先生に指導してもらえば生徒の安心感が違うと思います。しかし、それだけに教員は指導力が求められますので、教員の育成研修が大切になってくると思います。また、教員と生徒との相性も多少はあるかと思いますが、教員が変わるという選択肢もあるのでしょうか。 チューター制の後には他の先生でいろいろ対応ができた方がいいのではないかと。 入学初年度より教育理念の確認をしつつ、大学入学への挑戦意識が持てるようにご指導していただきたい。 難関大学志望者増に向けた対策強化。 専門学校を選ぶには理由があると思います。その専門学校を卒業し、どんな会社に就職しているのか調査しているのですか? 学習意欲の高い子たちにはより積極的になれる様整えてあげたい。 本人がやる気にならなければ仕方ない。やる気がある子は自らががんばれる。(底上げが必要) 模試を積極的に利用し、何度もトライしてレベルアップして行ってほしい。 コロナのせいにするのは良くないとは分かっているが、人間の生きる力、学ぼうとする意欲が育っていないと感じるのは私だけでしょうか。世の中がどんな状況であれ、学ぶことの大切さを教え続けていただきたい。

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合った、自分のやりたい仕事は何かをよく考え、企業研究を十分に行う指導を実践する。 3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示する。 企業に來校していただき、生徒が希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(14社予定) 同友会主催のオンラインによる企業説明会に積極的に参加させる。 企業訪問や卒業生、行政機関、企業採用担当者等の講話を通して、企業への理解を深め、社会人になることへの意識高揚を図る。 徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 企業研究は不十分であった。オンラインや本校での企業説明会、企業訪問など自分が参加する企業の研究をもっと行うべきであった。また、しっかり自立していく気持ちの準備を教員側で徹底していくことが今後の課題である。 就職指導課を中心に安定した就職の実績を残しており、地域からの信頼も厚い。 卒業生に個人的に指導、アドバイスをしてもらうことや、時節柄オンライン説明会に参加することは、効果的であり、継続すべきである。特に、卒業生からは生の声が聞け、いつ頃、どのような準備を行ってきたかがわかり、生徒の意識も少しずつ向上している。 例年通り、夏休みの面接指導など組織的に実施されている。 今後は公務員試験に対応できる生徒を増やしたい。 丁寧な指導がなされているが、日頃の職員室内での言葉遣いで気になるところもある。礼儀正しい応対が習慣となるよう日常的な声かけを大切にす。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎年多くの就職内定者の実績があり、先生方のご指導の賜と思っています。 求人も多く、企業訪問へ3カ所行け、自分に合った企業がわかる。 今後も安定した就職先を得て欲しい。ただ、18歳で職業を決めるのも難しいことだと思う。 面接練習が丁寧に指導されている。 夏休みの面接指導はありがたい。 卒業生の話を聞けるのも進路選択にとても役立つと思う。 公務員志望者に対する受験対策をお願いしたい。「科」によっては受験科目の履修がなく、外部で学ばざるを得ない場合がある。 順心生は基本的にマナーが良く、周囲からの評判は良いと感じますが、普段からの言葉遣いや立ち居振る舞いの個人差がある。 自己の点検を厳しく判断できることが望ましいと思います。
③生活指導の充実	礼法指導	<ul style="list-style-type: none"> 礼法教育の実践として、次の指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①校長講話による「本校の伝統や心の整え方」の学習。感想を書くことによる振り返り。 ②「your steps」に従った美しい所作。(初期指導、HR活動や学年集会、礼法授業) ③会釈、挨拶の励行。(朝終礼や登校時の挨拶、呼名された時の返事や姿勢、授業の前後の挨拶) ④食事作法を実践できる会食。(姿勢や作法) ⑤校風向上週間やマナーアップを通しての清楚な着こなし。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 講話については、一部には不十分と感じられる感想文もあるが、全般的にはよく考えて書いており、生徒の普段見られない一面を発見することができる。 「your steps」の活用が不十分である。年間計画の作成、学年への要請を生徒指導課が中心となって取り組んでいきたい。 礼儀作法について、家で考えたことがない生徒が多い中で、最終的に社会の一翼となる人材を育てるために、必要なことを指導している。特に、挨拶や返事など基本的なことができない生徒が増えている。これについては、年度初めの指導が大切であり、日々根気よく声を掛けることが必要である。 御茶当番指導や会食指導は本校ならではの特色であるが、会食については職員、生徒共に実施する意義を改めて確認し、積極的に実施していきたい。 マナーアップキャンペーンを校風委員と行い、清楚な着こなし、上靴の洗濯、鞆・リュックのキーホルダーのつけ方、アンダーシャツの着こなしなど、学校全体で意識付けしていく機会を作っていく。威儀を正して継続することが大切である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 礼法指導は他校にないものなので、これからも続けて行ってほしい。社会に出てとても役立ちます。 礼法については、順心の誇りと思います。幼稚園に保育士として勤めている先生にもちゃんと浸透していると思います。 生活と一番密着したことでするので、そこに凝視できないのは残念です。根気良くご指導いただければありがたいです。各家庭においても学校との連動が必要と思われます。 厳しい、窮屈というイメージがぬぐいきれていないと思う。そこが残念。楽しく学校生活を送っている生徒も多いと思うので、「健全」というイメージをアピールしてください。 順心の最大の強みなのにB評価は残念。家庭の指導は期待できません。残念ながら親世代が出来ていないのだから、子供に出来る筈がありません。とにかく先生方根気よく言い続けてください。 先日の評価委員会に出席した際、保護者の中にも礼法の意義を理解していないと感じましたので、一言申し上げさせてください。今必要な学びではないと思っているからで、就職の面接で立派に役立ち、生涯生きていく場面で活かされる時が来ます。この近隣の学校で教育されているのは順心だけです。これから人として成長していく時、人間性を磨く他校にはない学びを自信を持って使える様がんばりましょう。 挨拶や返事は基本中の基本で、生涯使う言葉として自然に発せられる様になるといいですね。根気よくご指導願います。 挨拶や返事ができないのは信じられない。本来指導するようなことではないが、TPOに合った言動ができるような指導が必要なのか？ お茶当番、会食、礼儀作法を確実に物にしたいですね。 清楚な着こなし・身だしなみはいつ見ても清々しく、高校生らしさを感じさせてくれるので、校風に関しては順心の規則に沿ってのご指導を期待します。 ジャンパースカートの着方が気になることがあった。スカートとベストが良い気がする。(制服の評判はとても良いので。ジャンパースカートである必要性があるのか?)
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 「順心生としての自律」をめざして次の指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①清掃活動や整理整頓を通した環境美化。私物の管理や清潔な生活感覚の育成。Clean up guidanceにしたがって清掃。(スマホについては朝礼時に電源OFFを確認して収納庫へ入れ、終礼時に自分のものを取り出す) ②生徒会活動を通して愛校心の育成。週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢の育成。 ③登下校時における社会ルールやマナーの遵守。(スマホを使用する時の周囲への配慮) 「情報収集→まとめ→分析→報告」を確実にし、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。 一報を通して迅速な情報共有に努め対策を講じる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 清掃への取り組みについては、これだけ時間と労力をかけている割には、徹底できていない。愛校心に直結するような動機づけの機会を考えていきたい。 講話の見回りの時には教室の環境美化が徹底しているが、普段はできていない。生徒だけの活動時に徹底させるためには、そこまで何度もくり返し指導し、生徒に刷り込んでいく必要がある。 スマートホンのルールについては、何度でも説明するこちら側の姿勢が大切である。なぜだめなのかを理解させることが必要である。 一報の仕組みはとても良い。関わりのないクラスや学年の生徒のことも多くの職員で共有するツールとして利用できている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> よくやっている生徒と腰をおろして時間が過ぎるのを待っているかのような生徒と差があると思います。仕方ない面もありますが、いまいちど清掃の取り組みについて生徒同士で話し合わせてみたらどうでしょうか。 清掃時の指導はやっぱり「くり返し、くり返し」生徒に伝えてください。 清掃に関しては、家庭での習慣も影響すると思うので保護者にも説明を。 先生方も一緒に清掃していただけることが素晴らしいです。 愛校心無くして学園の繁栄に繋がることは難しいのでは。 スマホのルール管理は出来ていると思う。特に電車内や歩きスマホはしている生徒を見たことがない。 他校の生徒でスマホを見ながら歩いたり、又自転車に乗りながら使っている生徒を時々目にしますが(本人は悪いとわかっているはず)、家庭においても充分注意して欲しい。 知人が「すごく品が良くて、どこの高校かと思ったら、順心だった。」と言っていた。(多分下校時)

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
④情報発信の充実	学級通信 学年通信	<ul style="list-style-type: none"> クラス・学年の様子を伝えるため、年間で12回(平均して月1回)程度発行する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校や担任の考え・思いを生徒・保護者と共有できる場だと思うので、積極的に話題を見つけ、年12回発行を目指す。 生徒から確実に保護者の手に渡り、目を通しているのか疑問である。読んだか否かを確認するシステムを導入したい。 細かい連絡に関してはICT(スタディサプリ等)を利用している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学級通信、楽しく見させていただいております。メール配信は？ 大変だと思いますが、年12回の発行を目指してください。 クラスだよりを年12回発行することが苦に感じている先生がいることが理解できません。(厳しい言い方で申し訳ありません。)学校(クラス)から保護者へ情報を伝える大切な手段だと思うのですが。毎月の初日(または最終日)は発行日と決め、主任(教頭)で点検したらどうでしょうか。 確実に渡っているか、発行回数が少ないのかわからない。 保護者に確実に手渡しできたことの証として、感想を含めたサインをいただけるシステムを取ることはどうでしょうか？ 入学の際にこのような通信があることをお知らせし、その後は各家庭の関心度だと思う。 問題点を共有できるように。
	HP・SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを随時更新し、最新の情報発信に努める。きずなネットを有効活用できるように職員研修会を開催し、利用できる職員を増やす。 	B	<ul style="list-style-type: none"> タイムリーに更新している。学校生活の楽しそうな様子をSNSなどで発信できると良い。フェイスブックやインスタグラムももっと効果的に活用できる。また、情報提供の回数や内容が増える分、保護者との距離感も近くなり効果がある。 保護者にしっかり見てもらいたい文書を配付した時は、きずなネットで知らせておくと保護者の手元に届くと思う。 きずなネットからさくら連絡網への変更を検討している学校と家庭とをつながり確かなものにしていく利用方法を模索する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 充実したHPだと思っています。今の保護者(若者)はSNS世代なので、SNSを充実させることが生徒獲得にもつながると思います。 ホームページは早送りをすると見れなくなってしまうので、調整をお願いしたい。 世の中に合わせたツールは有効的だと思う。 外部からの情報も速やかに発信できることを望みます。 自分自身、ラインやインスタを活用しているため、メールを見る習慣がなく、見逃すことが多々ある。
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を含めた日常の健康観察の実施(個人健康観察表・クラス健康観察カード) 新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインの作成と状況に合わせた検討。 健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じスクールカウンセラーとの連絡を密にする。 感染症等の状況や生徒の成長、実態に即した健康教育の実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策を含め、生徒が安心して安全に学校生活が送られるように配慮がなされている。 定期的に発行している「ほけんだより」には、この時期には何に気をつけるべきか示してあるので助かっている。 感染症予防対策や情報発信はできていると思うが、「忘れた」、「やらない」、「元気だから良い」等で、健康観察カードの未提出や検温の未実施などがあり、全ての生徒達に意識して行動するように促すことは十分にできていなかった。継続した指導が必要である。 スクールカウンセラーと連携を取りフィードバックを行い情報の共有を確実にした。 カウンセリングを必要とする生徒が増えているのであれば、カウンセラーの来校回数を増やすことはできないか。カウンセリングを受けることで、生徒の違った視点からの情報を得られ、生徒指導に役立っている。 教室へ入れない生徒への対応は十分だと思う。養護教諭の負担が大きいので、職員間で分担できることを具体的に明確化していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策は良く出来ている様で、これからも安全、安心が保たれていけることを希望します。 コロナへの対応は根気強くやっていくしかないのかと思います。しかし、マスクを外せない若者が増えているという情報を耳にすると、コロナが生活に及ぼす影響はとても大きいと思います。 コロナの時も登校させていただいてありがたかったです。 コロナ(休校)中、土曜日のオンライン対応が助かります。 カウンセラーとの共有されたご指導がとてもありがたい。
⑥安全管理	避難訓練 防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や集団下校訓練、防災講話、消火訓練等を実施し、生徒の防災意識や危機管理意識を高める。(7月、12月) 職員を対象に消火訓練や救急対策講習会等の訓練を実施し、職員の防災意識や危機管理意識を高める。 災害時の職員の役割分担の周知徹底を図る。(7月職員研修) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校組織として生徒の安全が第一であることを意識した上で生徒に周知し、防災訓練等についても危機管理意識を持たせ、丁寧に取り組ませることができた。また、マンネリ化しないように課題を設定し、生徒や職員の防災意識の向上に努めた。 “キキクル”実習(昨年の訓練で実施)をなるべく活用していきたい。自分の住んでいる地域の防災情報を確認でき、台風等の気象災害、地震・噴火等の災害等のシミュレーションは、定期的に行う必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 徹底した訓練が行われていることに安堵しております。感謝の限りです。 生徒の安全・安心を第一に考えて、これからも危機意識を持ち続けるためにも避難訓練等は定期的実施して欲しいです。 自主的に意識できる方向に(クイズなどで)持っていこうとするのは良い。 台風15号がもし平日だったらと心配になりました。